

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ひかり岩見沢5条		公表日		2026年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を使う活動については、不自由さを感じることがある為、近郊の体育館や外での活動を取り入れている。ダイナミックに動く機会を保障しております。 ・身体を動かす活動については、狭く感じます。 ・活動部屋の他にも、クールダウンできる部屋がある。 ・利用児も少ないので適切です。 ・用途によって部屋を使い分けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を使う活動については、部屋を移動して行うなど工夫しています。 ※体育館や外での活動も取り入れて、身体を動かす機会は保証しています。 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・非常勤も含めて8名の職員がいる。 ・児童1人に対して、職員が1人付けることが多かった。 ・児童の子どもがそれほど大人数ではないので、適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は適切な人数になるよう配置しています。 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化されていない玄関は、すのこを設置している。身体的に不自由さがあり、可動域に難しさがある方には、職員がマンツーマンで対応し、ケガのないよう配置している。 ・バリアフリーになっていません。 ・外から玄関、玄関から活動部屋に入るところに段差がある。 ・玄関が狭く、車椅子には不適切。スロープを設置する広さもない。 ・フロアには段差がないので、使いやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化されていない玄関は、すのこを置き段差を少なくしています。 また、手すりなど、必要最低限の設置はあります。 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日利用児を送り出したあと、清掃をしている。玩具の消毒も行っている。 ・毎日掃除をしています。 ・毎日掃除をしたり、加湿器をつけたりしている。 ・広い場所と狭い場所の2つがある。使い分けが出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃や消毒作業及び、室内の整理整頓を心がけ環境を整備しています。活動に合わせ、使用する部屋を変えなどの工夫もしています。 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・学習やクールダウンの場所として、個別に奥の部屋を利用している。 ・ホールの横に別室があります。 ・クールダウンできる個別の部屋がある。 ・自由に部屋の行き来が出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の部屋を確保し、学習やクールダウンの場所としています。 		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善委員が会議に参加し、事業所会議にて職員の意見を集約、議題として挙げ検討しながら管理者会議にて共有し、全体周知されている。 ・事業所会議を毎月行っています。 ・支援会議や事業所会議で話し合いをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムを作成し、公表されています。 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを実施し、ご意見を参考にさせていただき、改善に努めている。また、面談の際にご要望等をお伺いしている。 ・保護者の意向を把握し、業務改善につなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所会議や支援会議を開催し、改善に努めています。また、空いている時間を有効に使い、問題点を1つ1つ話し合い業務改善に努めています。 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・管理者との面談の際や、事業所会議、又は個人的にお伝えしたりお聞きし、業務改善委員会に挙げたり、改善につながるよう努めている。 ・定期的に個人面談が行われています。 ・主に事業所会議で話し合いをしている。 ・会議などで意見交換している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から意見を言える環境作り、業務改善につなげています。また、業務改善委員会に改善して欲しい議題を出し、1つ1つ解決しています。 		

業務改善	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	・現在、第三者による外部評価を行っていない。	・現在、第三章による外部評価は行っておりません。 ※外部講習等、広く外部の人が入る機会を作り、様々な意見を伺うことで改善につなげていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	・内外部研修に参加できるよう、出勤体制を整えている。 ・研修は多くあります。 ・全体研修や事業所間研修、外部研修など豊富にある。 ・参加する時間があつた。機会もある。	・内部研修や外部研修に参加できるよう、出勤体制を整えています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	・公表されているが、保護者へはまだ十分には浸透されていない様子がある。 ・定期的に作成されています。 ・適切に作成、公表されている。 ・職員間で共有し、保護者へ伝える姿勢をとっている。	・支援プログラムを作成し、公表させていただいておりますが、保護者様への告知が十分にされていません。 ※今度は、全保護者様に周知していけるよう努めてまいります。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	・定期的に面談を行い、作成している。月1で支援会議を行っている。 ・支援会議が月に一度行われています。 ・児発管により適切に行われている。 ・面談を通して、保護者の意向を聞いている。	・児童発達支援計画については、定期的に面談を行い、作成しています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	・月1回支援会議を行い、子どもの人数が多い時は、2～3回行うこともある。 ・共通理解の下で検討している。 ・支援会議を行い、職員全体で話し合い、検討している。	・最低月1回支援会議を開催し、全職員から意見も取り入れながら、児童発達支援計画を作成しています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	・HUGにて計画を確認し、日々の支援にあたっている。 ・回覧で必ず回ってきます。 ・共有され、計画に沿った支援を行っている。	・全職員が児童発達支援計画を回覧し、統一した支援にあたっています。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	・状況もその日によって違うため、変化や検討すべき点があつた際は、職員間で共有している。 ・HUGで確認してます。 ・支援記録等で確認している。	・ツールを活用しながら、職員間で状況を確認しています。また、日々行動観察し、変化がある際は職員間で情報共有を図っています。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	・支援内容については、支援会議の中で、利用児にとって必要なことを検討し、保護者との面談にて更に具体的なものに設定している。 ・具体的な設定だと思えます。 ・児発管により適切に設定されている。 ・面談や会議を通して、計画を立てている。	・児童発達支援計画は、長期・短期・三つの本人支援と家族支援・移行支援・地域支援・地域連携の項目を入れて作成しています。 ※支援内容については、具体的な内容になるよう心がけていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	・担当をきめ必要の際には、レク会議を行っている。レク後には反省をし、フィードバックに努めている。 ・利用児童に合わせて、その都度職員で考えています。 ・レク担当者で話し合いをし、立案している。	・毎月レク会議を開催し、月ごとの内容を検討しています。細かな内容については、担当チームが主となり、内容を煮詰めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	・毎日同じにならぬよう配慮している。 フィードバックをいかし、内容を工夫している。 ・毎日違うレク案をたてています。 ・レク担当者により、固定化しないように振り分けしている。 ・利用児の特性に合わせて組んでいる。	・毎回同じような内容にならないように工夫しています。新しい活動を取り入れたり、フィードバックを行い、以前行った活動でも内容を変更して取り組むこともあります。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	・設定活動と自主活動の中で、必要に応じて個別対応や集団での動きを取り入れている。 ・各自の課題に合わせて作成されています。 ・子どもの状況に応じて支援が行われている。 ・レクリエーション内で、工夫して行っている。	・児童発達支援計画作成にあたり、各自の課題や目標設定に合わせて考えています。 ※設定活動と自主活動の時間を使いながら、個別と集団での活動を取り入れています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	・朝に打ち合わせを行い、連携を図っている。 ・朝の打ち合わせを行っております。 ・送迎の関係でできない時もあるが、基本的には朝の打ち合わせを実施している。	・できる限り朝打ちをし、その日の送迎や役割分担について、打ち合わせを行っています。

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の戻り時間により、難しい日もあるが、翌日、もしくは別日に振り返りを行っている。 ・HUGやグループLINEで、共有されています。 ・支援終了後には、気付いた点等を共有している。 ・隙間時間で行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎後に職員で打ち合わせや振り返りを行っています。また、LINEやラインワークスも活用し、共有しています。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急検討の際は、必ずHUGに入力し、その日又は翌日に共有している。通常はHUGにその日入力している。 ・HUGを活用しています。 ・活動終了後、または翌日の午前中に記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGを活用し、記録データで残していません。職員間で詳細を確認しあうこともあります。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとに保護者様と面談を行い、ご意見をいただいて見直しを行っている。 ・定期的に行っています。 ・支援会議にて、モニタリングを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1度、保護者様と面談を行い、ご意見をお聞きして児童発達支援計画の見直しをしています。 	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管を中心に参画している。 ・児童発達支援管理責任者が参加しています。 ・児発管や主任保育士が参加している。 ・相談支援の会議に参加しているか不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議や関係機関との会議へは、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関とは直接的な連携はないが、保護者を通してお話を伺う機会はある。保育園、幼稚園とは連携している。 ・連携しています。 ・連携して支援を行っている。 ・連携をとれているか不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉、保育園、幼稚園、学校とは、必要に応じて連携を図っています。医療機関とは、現在連携をとっていません。今度、必要に応じて連携を図っています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有は必要に応じて行っている。 ・情報共有されています。 ・幼稚園や保育園と併行利用している。 ・ケース会議や送迎時にて連携をとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・併用利用や移行に向けた支援は、相談支援事業所に間に入ってもらい、情報共有と相互理解を図っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・就学前相談では、事業所での様子を記載し、市に資料を提出している。 ・情報共有と相互理解を図っている。 ・全員ではないが図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前相談では、事業所での様子を記載し、市に資料を提出しています。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答)					
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所部会の参画、その他相談を通じて助言を受けている。 ・設けています。 ・児童発達支援センターと連携を図っている。 ・センターとの連携がとれているか不明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関から助言をいただく機会を設けています。 	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、幼稚園とは、交流の場を設けることはできなかったが、近くの放課後等デイサービスとの交流を予定している。 ・他のこどもと活動する機会はありません。 ・夏祭りをを行い、地域の方に呼びかけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園との交流する機会を設けることはできませんでした。 	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・HUGに、送迎時などに、共有させていただいている。 ・送迎時にお伝えしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時やHUG、LINEで、日頃から共通理解を図っています。電話での相談も受け、支援の方向性について共有しています。 	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との親子レクとして、ムーブメントを行い、講師に相談する場を設けている。 ・保護者も参加できる活動を用意しています。 ・把握していない。 ・家族等への促しを行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子参加の行事を取り入れて、家族支援やペアレントトレーニングに準ずる場を提供しています。 	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に管理者より、丁寧に説明を行っている。	・契約時に管理者が、資料を用いて丁寧に説明しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・面談にて確認している。 ・必ず面談日を設けています。	・半年に1回面談を行い、保護者様とお子さまの意向をお聞きする場を設けています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		・面談にて同意を得ている。 ・個別面談で計画説明があり、その後同意を得ています。	・児童発達支援計画を1つ1つ説明し、保護者様から同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・必要に応じて相談に応じている。 ・電話やLINEを活用して行われています。 ・面談時に行っている。 ・送迎時や電話にて相談対応をしている。	・定期的に面談を行い、その都度相談を受けています。また、送迎時に相談を受けたものは、一旦持ち帰り適切な助言等をさせていただいています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		・ムーブメントや夏祭り、お別れ会など、保護者参加型の活動時に設けている。 ・ムーブメントやイージーベースボール大会、モルックやよさこいイベントを行っています。 ・大イベント時に、時間を設けている。 ・父母の会などはないが、保護者が参加できる行事を行っている。	・行事の中で、保護者様はじめご家族で参加できるイベントを提供しております。その中で、保護者様同士や兄弟姉妹同士が交流できるよう場を設けています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・都度必要に応じて、対応している。 ・電話やLINEを活用して対応しています。 ・相談や申入れの際には、迅速に対応するようにしている。	・相談に関しては、常にお伺いできる状況を整えています。また、伺った内容に対しては、迅速に対応できるよう整えています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・HUGにて通信を出している。SNSで活動動画を投稿している。 ・HUGを活用して発信しています。 ・月1回通信を発行したり、専用ソフトを使って活動の様子を伝えている。	・毎月一回HUGにて、ひかり通信を発信しています。また、SNSでも、活動の様子を投稿しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・十分留意している。 ・鍵付きのロッカーで保管しています。 ・名前が入っている紙は、シュレッダーする等している。	・職員それぞれが、個人情報の取り扱いについては、細心の注意を払っております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・具体的に簡潔に伝えるようにしている。 ・伝わりやすい言葉を使うように意識しています。 ・簡潔明瞭な言葉使いにしたり、絵や文章などを使って視覚化したりしている。 ・書面での伝達、口頭、個別での対応もしている。	・わかりやすい言葉で説明することや、視覚表示を活用するなどの配慮をしています。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	・夏祭りにはポスターを作成し、スーパー等にご協力いただき貼らせていただいている。 ・夏祭りの時にポスターを貼りました。 ・把握していない。	・夏祭りに関しては、地域の方々への告知としてスーパーや児童館にポスターを掲示させていただいております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		・実施している。 ・定期的に避難訓練を実施している。	・避難訓練を定期的に行っています。 ※保護者様に周知できるよう、準備していきたいと思っております。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・行っている。 ・避難訓練を実施しています。 ・年間行事に組み込んで行っている。 ・火災・地震・雪害・不審者を年1回づつ行っている。	・災害の発生に備え、避難袋の準備や定期的に避難訓練を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・服薬時や変更の際は、毎回ご連絡いただいている。 ・服薬がある場合は、職員で共有しています。 ・確認している。	・利用開始時に、服薬や予防接種の確認及び、発作や持病について確認しています。 服薬の種類や量の変更時には、毎回お知らせさせていただいております。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	4	・医師の指示書が必要な児童はいない。 ・医師の指示書はありません。 ・保護者からの申告のみ。	・現在、医師の指示書が必要な利用児童はおりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2	・研修や訓練を行っている。 ・安全計画は作成していません。 ・安全計画について把握していない。	・安全な環境設定を、子どもたちを受け入れる前に整え、支援を行っています。日頃から避難訓練や研修にも参加しています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3	・避難場所について、ご家族へ周知する必要がある。 ・安全計画は作成していません。 ・周知していない。 ・HUGや送迎時に周知している。	・緊急連絡先の一覧表を作成し、緊急時にはすぐに連絡がとれるように用意しています。

非常時等の対応	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・HUGを活用している。 ・ヒヤリハットのファイルを作成しています。 ・会議で検討している。 	・ヒヤリハットは、現在、HUGを活用し、残しております。職員間で共有し、再発防止に努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・内外部研修に参加し、適切な対応を心がけている。 ・虐待防止研修がありました。 ・全体研修や外部研修、伝達研修を受ける機会がある。 ・虐待防止委員会にて、話し合われたことを事業所に持ち帰り対応している。 	・外部研修、内部研修にて、虐待防止について学ぶ機会を設けています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に、管理者より十分説明されている。サインをいただいている。 ・身体拘束を行っていません。 ・身体拘束が必要な場合は記載している。